

## 平成26年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成25年10月10日

上場会社名 株式会社マックハウス 上場取引所 東  
 コード番号 7603 URL <http://www.mac-house.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 白土 孝  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 杉浦 功四郎 (TEL) (03)3316-1911  
 四半期報告書提出予定日 平成25年10月11日 配当支払開始予定日 平成25年11月5日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有(機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年2月期第2四半期の業績（平成25年3月1日～平成25年8月31日）

(1) 経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年2月期第2四半期	17,821	△3.5	768	△26.7	835	△25.8	448	△33.7
25年2月期第2四半期	18,463	△2.5	1,049	58.2	1,126	61.7	676	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年2月期第2四半期	29.24	29.21
25年2月期第2四半期	43.95	43.94

### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年2月期第2四半期	27,002	16,189	59.9
25年2月期	29,849	16,192	54.2

(参考) 自己資本 26年2月期第2四半期 16,179百万円 25年2月期 16,182百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1 四半期末	第2 四半期末	第3 四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年2月期	—	10.00	—	30.00	40.00
26年2月期	—	20.00	—	—	—
26年2月期(予想)	—	—	—	20.00	40.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成26年2月期の業績予想（平成25年3月1日～平成26年2月28日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	37,300	△3.5	1,890	△30.4	2,030	△30.1	1,100	△55.5	71.72

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年2月期2Q	15,597,638株	25年2月期	15,597,638株
② 期末自己株式数	26年2月期2Q	260,021株	25年2月期	277,541株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年2月期2Q	15,329,337株	25年2月期2Q	15,390,108株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については四半期決算短信（添付資料）4ページ「(3)業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	3
(3) 業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期財務諸表	6
(1) 四半期貸借対照表	6
(2) 四半期損益計算書	8
第2四半期累計期間	8
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
4. 「参考資料」	11
商品別売上高の状況	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間(平成25年3月1日～平成25年8月31日)における我が国の経済は、いわゆる「アベノミクス」に伴う円安・株高を背景に、生産活動や消費マインドの改善が進んでおり、雇用情勢についても、有効求人倍率が上昇するなどの改善の動きがみられます。消費者物価としてはほぼ横ばいとなっている状況です。

#### 1) 消費環境の状況

株高による資産効果により宝飾・貴金属などの高額品の販売が好調な半面、衣料品や日用品などは、節約志向への意識が依然として強く、予断を許さない状況であります。

また、天候については、4月中旬から5月上旬にかけては寒気の影響により全国的に低温となった一方、6月以降は平年より高温となり、8月には各地で猛暑となるなど、気温の変動が大きく、衣料品の消費に影響を及ぼしました。

#### 2) 当社の状況

厳しい消費環境のもと、当社は以下のような施策を実施して、顧客満足度の向上を図り、売上・売上総利益の確保に努めております。

##### ①商品施策

商品面におきましては、吸汗速乾、抗菌防臭などの夏機能素材「SA・RA・RI Cool」を使用した商品や、日用品メーカーの衣料用柔軟仕上げ剤の香りがするレディースウェアを発売するなど、話題性のある商品開発を実施、「股上深めのスキニーが欲しい」などのお客様の声を商品開発に取り入れるなど、お客様ニーズに応える品揃えに取り組みました。

尚、当第2四半期会計期間におけるPB及びNPB(ナショナルプライベートブランド)の売上シェアは前年同期と比較して約11ポイント増の約50%となりました。

##### ②販売施策

販売促進活動におきましては、昨年好調に推移したナノプラチナデニムのTVCMを放映するとともに、女性をターゲットとした着こなし提案で好評なフリーマガジン「nana STYLE」vol. 8を発行しました。また、シニアをターゲットに、毎月15日・16日を「シルバーデー」として60歳以上のお客様に割引販売を継続実施しました。更に、モバイル会員様向け特典の配信を継続的に実施しました。その結果、モバイル会員は前期末対比で25万人増の119万人を突破し、多数のお客様の支持を得ました。

##### ③出退店施策

出退店につきましては、7店舗の改装を実施したほか、SC(ショッピングセンター)に17店舗を新規出店した一方、退店12店舗により、当第2四半期会計期間末店舗数は481店舗(前年同四半期比4店舗増加)となりました。

尚、当第2四半期は、今後の業態統一の一環としてゴールウェイ業態12店舗の改装閉店セールを実施し、改装準備を行いました。

これらの結果、当第2四半期累計期間における売上高は17,821百万円(前年同四半期比3.5%減)、売上総利益率は前年同四半期比0.3ポイント改善(48.2%)、営業利益は768百万円(前年同四半期比26.7%減)、経常利益は835百万円(前年同四半期比25.8%減)、四半期純利益は448百万円(前年同四半期比33.7%減)となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第2四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べ2,846百万円減少し、27,002百万円となりました。

流動資産は、前事業年度末に比べ2,708百万円減少し、19,138百万円となりました。これは主に現金及び預金が2,613百万円、商品が320百万円それぞれ減少した一方で、売掛金が269百万円増加したこと等によるものであります。

固定資産は、前事業年度末に比べ138百万円減少し、7,863百万円となりました。これは主に敷金及び保証金が146百万円減少したこと等によるものであります。

(負債)

当第2四半期会計期間末における負債合計は、前事業年度末に比べ2,843百万円減少し、10,812百万円となりました。

流動負債は、前事業年度末に比べ2,586百万円減少し、8,089百万円となりました。これは主にファクタリング債務が1,680百万円、未払法人税等が699百万円それぞれ減少したこと等によるものであります。

固定負債は、前事業年度末に比べ257百万円減少し、2,722百万円となりました。これは主に長期未払金が175百万円減少したこと等によるものであります。

(純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産合計は、前事業年度末に比べ3百万円減少し、16,189百万円となりました。

これは主に四半期純利益を448百万円計上した一方で、剰余金の配当459百万円を行ったこと等によるものであり、総資産に占める自己資本比率は59.9%となり前事業年度末に比べ5.7ポイント増となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は営業活動、投資活動及び財務活動によるキャッシュ・フローがマイナスとなり、資金は前事業年度末に比べ2,611百万円減少し、8,607百万円となりました。

また、当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローは次のとおりであります。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果支出した資金は、1,889百万円(前年同四半期比1,253百万円増)となりました。

これは主に、税引前四半期純利益を821百万円計上するとともに、仕入債務の減少2,024百万円及び法人税等の支払額872百万円等によるものであります。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果支出した資金は、192百万円(前年同四半期比139百万円増)となりました。

これは主に、有形固定資産の取得による支出188百万円、敷金及び保証金の差入による支出96百万円等によるものであります。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果支出した資金は、528百万円(前年同四半期比147百万円増)となりました。

これは主に、割賦債務の返済による支出67百万円及び配当金の支払額459百万円等によるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、最近の業績動向を踏まえ、平成25年4月10日付、「平成25年2月期決算短信」で公表いたしました業績予想を修正しております。詳細につきましては、平成25年10月9日に公表いたしました「平成26年2月期の業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期会計期間より、平成25年3月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、この変更による当第2四半期累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位:百万円)

	前事業年度 (平成25年2月28日)	当第2四半期会計期間 (平成25年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	14,322	11,708
売掛金	364	633
商品	6,541	6,221
前払費用	371	363
繰延税金資産	187	115
その他	60	96
流動資産合計	21,847	19,138
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	162	156
建物附属設備(純額)	862	978
構築物(純額)	43	41
車両運搬具(純額)	2	1
工具、器具及び備品(純額)	71	74
リース資産(純額)	—	3
土地	238	238
その他	3	—
有形固定資産合計	1,384	1,494
無形固定資産		
投資その他の資産	113	129
長期前払費用	201	201
敷金及び保証金	5,358	5,211
繰延税金資産	871	781
その他	127	93
貸倒引当金	△55	△48
投資その他の資産合計	6,503	6,239
固定資産合計	8,001	7,863
資産合計	29,849	27,002



(単位:百万円)

	前事業年度 (平成25年2月28日)	当第2四半期会計期間 (平成25年8月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,302	4,953
ファクタリング債務	2,810	1,130
未払金	537	479
未払法人税等	937	237
未払費用	643	777
賞与引当金	111	117
店舗閉鎖損失引当金	15	11
リース資産減損勘定	222	175
資産除去債務	17	15
その他	78	191
流動負債合計	10,676	8,089
固定負債		
長期未払金	274	99
退職給付引当金	1,379	1,388
転貸損失引当金	265	248
長期預り保証金	219	216
長期リース資産減損勘定	248	169
資産除去債務	592	598
その他	0	3
固定負債合計	2,979	2,722
負債合計	13,656	10,812
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,617	1,617
資本剰余金	5,299	5,299
利益剰余金	9,428	9,414
自己株式	△163	△152
株主資本合計	16,182	16,179
新株予約権	9	9
純資産合計	16,192	16,189
負債純資産合計	29,849	27,002

（2）四半期損益計算書  
第2四半期累計期間

（単位：百万円）

	前第2四半期累計期間 （自平成24年3月1日 至平成24年8月31日）	当第2四半期累計期間 （自平成25年3月1日 至平成25年8月31日）
売上高	18,463	17,821
売上原価	9,616	9,237
売上総利益	8,846	8,584
販売費及び一般管理費	7,797	7,815
営業利益	1,049	768
営業外収益		
受取利息	10	10
受取家賃	206	189
その他	72	50
営業外収益合計	289	249
営業外費用		
支払利息	2	1
不動産賃貸費用	194	177
転貸損失引当金繰入額	13	—
その他	2	4
営業外費用合計	212	182
経常利益	1,126	835
特別利益		
受取違約金	8	7
店舗閉鎖損失引当金戻入額	16	—
特別利益合計	24	7
特別損失		
固定資産除却損	1	10
店舗閉鎖損失	23	—
減損損失	1	10
特別損失合計	25	21
税引前四半期純利益	1,125	821
法人税、住民税及び事業税	264	210
法人税等調整額	184	162
法人税等合計	449	373
四半期純利益	676	448

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	1,125	821
減価償却費	103	91
減損損失	1	10
退職給付引当金の増減額(△は減少)	11	8
賞与引当金の増減額(△は減少)	13	6
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△5	△6
受取利息及び受取配当金	△10	△10
転貸損失引当金の増減額(△は減少)	△6	△17
店舗閉鎖損失引当金の増減額(△は減少)	△40	△4
リース資産減損勘定の増減額(△は減少)	△212	△126
支払利息	2	1
賃借料との相殺による保証金返還額	135	117
売上債権の増減額(△は増加)	△93	△269
たな卸資産の増減額(△は増加)	74	320
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,488	△2,024
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△133	—
固定資産除却損	1	10
店舗閉鎖損失	23	—
未払消費税等の増減額(△は減少)	△86	81
その他	3	△27
小計	△581	△1,015
利息及び配当金の受取額	1	0
利息の支払額	△2	△1
法人税等の支払額	△54	△872
営業活動によるキャッシュ・フロー	△636	△1,889
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△132	△188
無形固定資産の取得による支出	—	△11
定期預金の払戻による収入	7	2
敷金及び保証金の差入による支出	△72	△96
敷金及び保証金の回収による収入	158	99
その他	△13	2
投資活動によるキャッシュ・フロー	△53	△192
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の取得による支出	△157	△0
配当金の支払額	△155	△459
リース債務の返済による支出	△1	△1
割賦債務の返済による支出	△65	△67
その他	—	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△380	△528
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,071	△2,611
現金及び現金同等物の期首残高	10,994	11,218
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,923	8,607

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

当第2四半期累計期間(自平成25年3月1日至平成25年8月31日)

当社は衣料品小売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 「参考資料」

商品別売上高の状況

期別 商品別	前第2四半期累計期間 自 平成24年3月1日 至 平成24年8月31日	当第2四半期累計期間 自 平成25年3月1日 至 平成25年8月31日	前年同四半期比	増減
メンズアウター	412百万円	453百万円	109.7%	40百万円
メンズインナー	4,873百万円	4,788百万円	98.2%	△85百万円
メンズボトムス	3,917百万円	3,672百万円	93.8%	△244百万円
レディース	5,141百万円	4,994百万円	97.1%	△147百万円
その他	4,117百万円	3,912百万円	95.0%	△204百万円
合計	18,463百万円	17,821百万円	96.5%	△642百万円

(注) 「その他」は小物、子供服等であります。